

木曽川上流河川事務所 事業概要

令和

8

年度



木曽川三派川地区



138タワーパーク



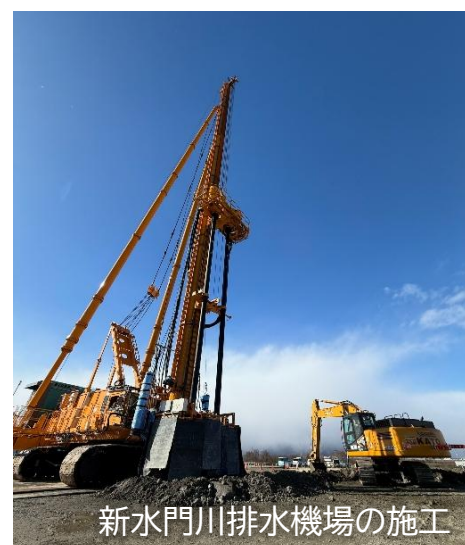
長良川プロムナード



岐阜市街地を下る長良川



捐斐川・根尾川合流部



新水門川排水機場の施工

発行



国土交通省 中部地方整備局 木曽川上流河川事務所

1. 木曾三川の概要

流域は、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県の5県にまたがり、濃尾平野を抱え、名神自動車道、東海北陸自動車道、東海環状自動車道等の高速道路、東海道新幹線、JR東海道本線等の交通の要衝となっており、流域内人口約190万人に達します。

木曾川水系は、豊富な水量により都市用水、農業用水や水力発電によるエネルギー供給など古くから地域の発展に大きく貢献してきました。さらに、古くから治水に悩まされた輪中地帯が広がる一方で、歴史・文化遺産が多く、また、良好で多様な環境を有し、豊かな生態系を育んでいます。

このように木曾三川の流域は中部圏の社会・経済・文化の基盤を成す地域となっています。

項目		単位	木曾川	長良川	揖斐川
河川の概要	水源	m	長野県木曾郡木祖村 鉢盛山 標高 2,446	岐阜県郡上市高鷲 大日ヶ岳 標高 1,709	岐阜県揖斐郡揖斐川町藤橋 冠山 標高 1,257
	流域面積	km ²	5,275	1,985	1,840
	幹川流路延長	km	229	166	121
	想定氾濫面積	km ²	720	330	410
	大臣管理区間	km	幹川 73.4	幹川 56.1	幹川 63.3
河川整備計画	目標流量	m ³ /sec	犬山 16,500	忠節 8,100	万石4,500 万石5,000
	河道整備流量 (河道整備で対応する流量)	m ³ /sec	犬山 12,500	忠節 7,700	万石3,900 (H14出水) 万石3,500 (S50出水)
既往洪水	既往著名洪水流量	m ³ /sec	昭和58年9月29日 (台風10号) 14,100(犬山)	平成16年10月21日 (台風23号) 7,700(忠節)	平成14年7月10日 (台風6号) 4,200(万石)



2. 木曾三川の治水の歴史

江戸時代までの治水事業

- ◆16世紀頃から輪中や敷地を盛土した水屋などの水害対策が行われました。本格的な治水事業として現在に伝えられているものは、豊臣秀吉によって文禄2年(1593)から始められた「文禄の治水」です。
- ◆江戸時代初期、木曾川左岸(犬山市から弥富町までの約4.7km)に「御囲堤」が築堤されました。
- ◆宝暦4年(1754)に薩摩藩による御手伝普請によって、逆川洗堰、大樽川洗堰、油島の締切り工事を中心とした「宝暦治水」が行われました。

明治時代の治水事業

- ◆オランダ人技術者ヨハネス・デ・レーケを迎え、三川を完全に分流する「木曾川下流改修計画」を明治20年(1887)に策定し、明治45年(1912)に完成しました。

大正時代～昭和初期の治水事業

- ◆大正10年(1921)に木曾川上流改修計画を策定し、木曾川上流部の派川の締切り等によって流路の整正を行う改修工事、長良川の古川、古々川の締切り工事などを行いました。また、計画の流量を見直し、堤防の改築、掘削、浚渫の改修工事を行いました。

戦後～現在の治水事業

- ◆戦後では、昭和28年度以降改修総体計画、昭和40年の工事実施基本計画、平成18年の木曾川水系河川整備基本方針など計画の策定、見直しを行ってきています。これらの計画では、木曾川、揖斐川で洪水調節を位置づけ、木曾川と支川では丸山ダム、岩屋ダム、阿木川ダム、味噌川ダムを、揖斐川では、横山ダム、徳山ダムを整備しています。
- ◆木曾川では、美濃加茂市、坂祝町で甚大な被害が発生した昭和58年9月の出水などを踏まえ、昭和61年に治水対策も含めて治水・利水機能が向上する新丸山ダムの建設に着手しています。また、木曾川右岸で、築堤及び護岸等を新設する事業を平成元年に完了しています。
- ◆長良川では、昭和63年に長良川河口堰に着工し、洪水時の水位を下げる河道の浚渫を昭和46年～平成9年に行っています。一方、昭和51年9月洪水により、長良川右岸堤防が決壊し、安八町・大垣市(旧墨俣町)などで甚大な被害が発生し、この災害復旧として、安八町・大垣市一連区間の堤防強化、伊自良川の川幅の拡幅(引堤)、沿川内水地域の排水強化などを行っています。さらに、平成16年10月の台風23号出水では、既往最大流量を記録し、一部区間で危険水位を超えたことから河道掘削を行いました。
- ◆揖斐川では昭和50年8月出水で既往最高水位を記録し、昭和51年9月出水と相次ぎ、支川氾濫や大垣市内で内水による被害が発生しています。さらに平成14年7月洪水では、昭和50年出水に迫る水位を記録し、根尾川でも既往最高水位を記録するとともに、大垣市で浸水被害が発生しました。平成20年には徳山ダムが完成し、揖斐川の治水安全度が大きく向上しています。



3. 近年の主な洪水と浸水想定

木曽川

- ◆昭和58年(1983)の台風10号と秋雨前線により、戦後最大規模の洪水が発生し、岐阜県美濃加茂市、坂祝町及び可児市等で4,588戸が浸水するなど甚大な被害が発生しました。



勝山陸閘閉鎖の状況



昭和58年9月洪水(戦後最大規模)
美濃加茂市街の浸水状況

- ◆令和3年(2021)8月の記録的な豪雨により、坂祝町勝山地区において勝山陸閘を、一宮市起地区において起陸閘を閉鎖し、浸水被害に備えました。

長良川

- ◆昭和51年(1976)9月洪水により、約59,500戸が浸水するなど、安八町、大垣市(旧墨俣町)をはじめとする広い地域において甚大な被害が発生しました。
- ◆平成16年(2004)の台風23号により、戦後最大規模の洪水が発生し、床上浸水386戸、床下浸水277戸など大きな被害が発生しました。



水防団による水防活動の実施状況(月の輪工法)



平成16年10月洪水(戦後最大規模)
岐阜市福富地区の浸水状況

- ◆平成30年(2018)7月の台風7号と梅雨前線により、戦後最大の洪水である平成16年洪水以来14年ぶりに長良陸閘・大宮陸閘を閉鎖、また、島田地区・日置江地区においては、水防団が水防活動を実施し、堤防決壊のリスクを低減しました。

※ 木曽川洪水浸水想定区域図は、水防法第14条に基づき、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域として指定し、浸水した場合に想定される水深、浸水継続時間等と併せて公表しているものです。
※ 設定条件等については、以下のウェブページをご覧ください。
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/shinsuisoutei/index.html>

➤ 揖斐川

- ◆ 昭和50年(1975)の台風6号により、戦後最大規模の洪水が発生し、万石地点において、観史上最高水位が観測されました。
- ◆ 平成14年(2002)7月の台風6号により、支川で内水氾濫が発生するなど、浸水戸数970戸の大きな被害が発生しました。



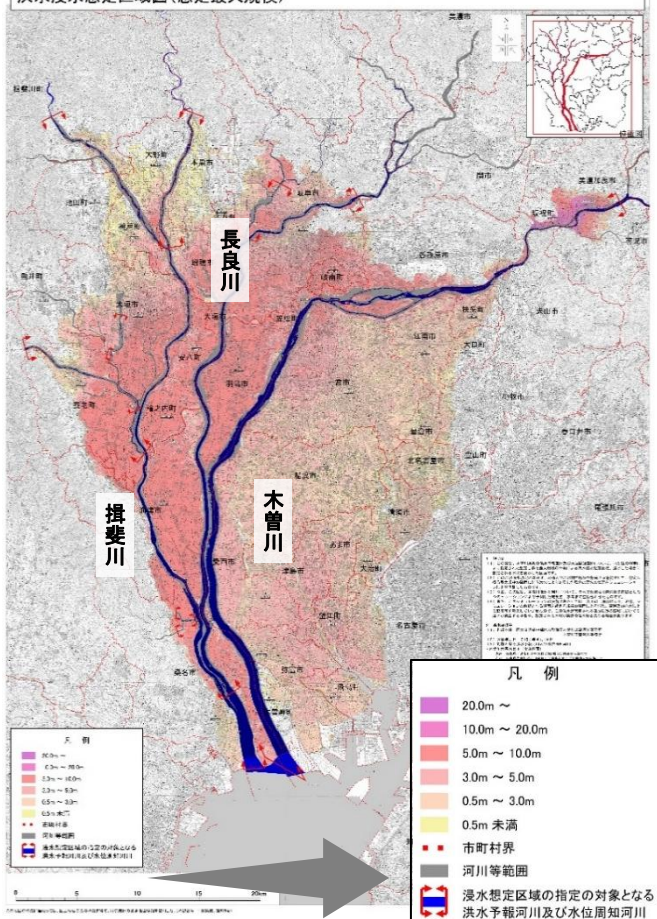
- ◆ 平成24年(2012)9月の洪水では、牧田川で漏水や河岸の洗堀が発生し、塩田橋地点において氾濫危険水位を超過しました。徳山ダム・横山ダムの連携した洪水調節により河川水位を低下させることで、浸水被害を軽減させることができました。

➤ 木曽三川における浸水想定

木曽三川において洪水が発生した場合、以下のような区域で浸水が想定されています。このような氾濫被害を軽減させるため、治水事業を行っています。(※下図は想定し得る最大規模の降雨による浸水)

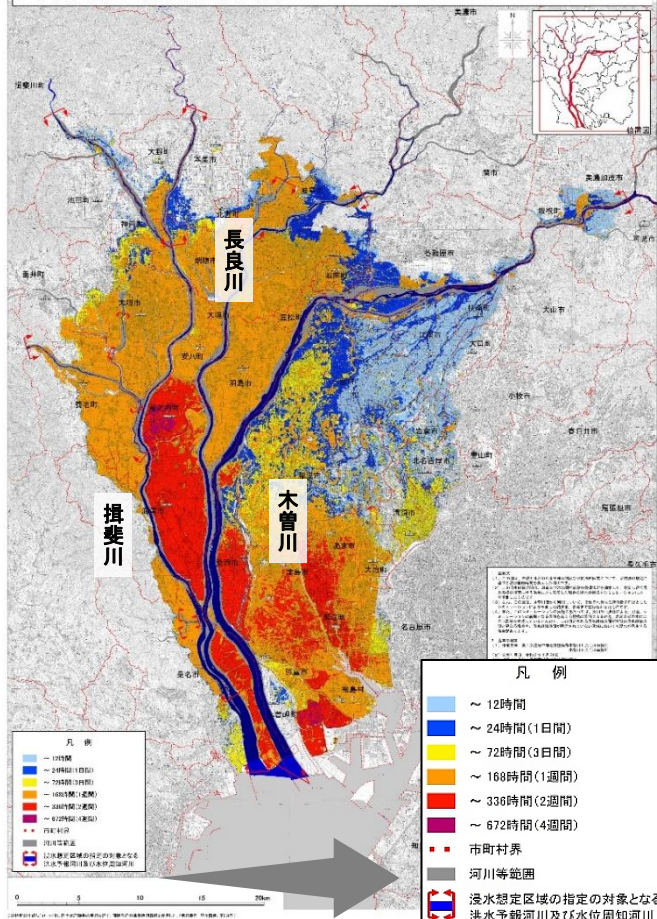
洪水浸水想定区域

木曽川水系木曽川・長良川・揖斐川・伊自良川・根尾川・牧田川・杭瀬川・多度川・肱江川
洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



浸水継続時間

木曽川水系木曽川・長良川・揖斐川・伊自良川・根尾川・牧田川・杭瀬川・多度川・肱江川
洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



4. 長良川9.12豪雨災害から50年

岐阜県史上最悪の河川災害

昭和51年9月4日に太平洋で発生した台風17号は急速に発達し、9月8日には中心気圧が910hPaまで低下しました。同じころ、関東～近畿には停滞前線ができ、台風の湿った空気が流れ込んだことで前線の活動が長く強まりました。

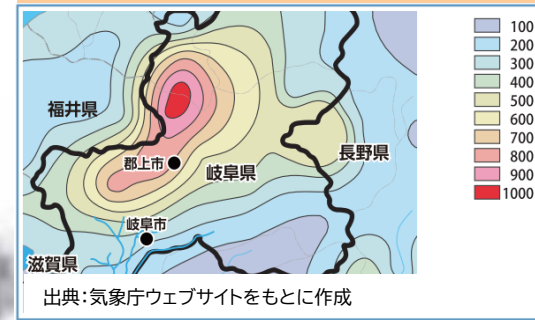
9月12日、台風に伴う豪雨により安八郡安八町大森の長良川右岸堤防が決壊。濁流は安八町・墨俣町全域を襲い、水防活動中の区長が死亡、3,536世帯が床上浸水などの被害を受けました。被害総額は約130億円に達し、岐阜県史上最悪の河川災害となりました。

平成30年7月豪雨と昭和51年9月豪雨の比較

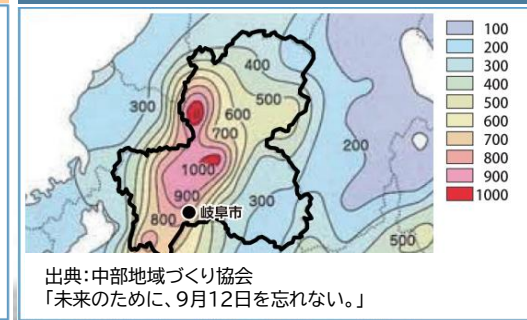
平成30年7月豪雨による長良川の出水は、水位の高い状態が長時間継続した点、その間に複数のピークを迎えた点で、昭和51年9月12日の豪雨に状況が酷似していました。

昭和51年9月豪雨と比較し、流域内の最大総雨量や流域平均雨量は同程度でしたが、岐阜市など中下流市街地の雨量は半分以下であったこと、また、これまでの河川整備により洪水時の水位が低減したこと、さらに、水防団等による迅速な応急対策や陸閉鎖により、木曾川上流河川事務所が管理する区間では、幸いにも氾濫被害は発生しませんでした。

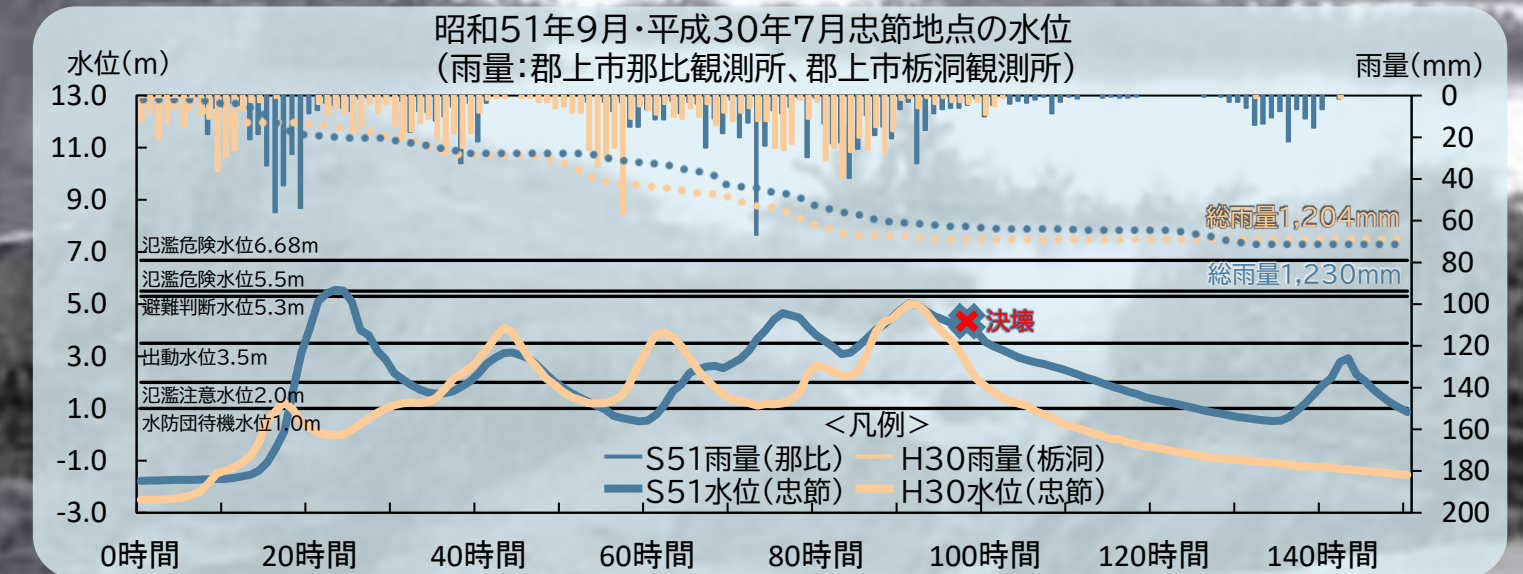
【平成30年7月豪雨】総雨量分布図



【昭和51年9月豪雨】総雨量分布図



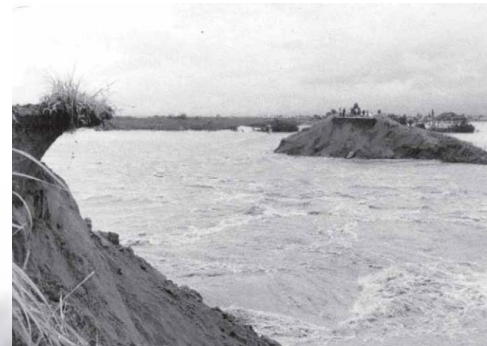
	平成30年7月豪雨	昭和51年9月豪雨
期間	5日間 (7/4-8)	7日間 (9/8-14)
流域内の最大総雨量	1,204mm (郡上市白鳥町那比観測所)	1,230mm (郡上市八幡町那比観測所)
流域平均雨量	約705mm	約838mm
岐阜市忠節観測所	330mm	885mm
大垣市墨俣観測所	281mm	783mm



降りしきる雨の中、水と対決する水防団員 (岐阜新聞より提供)



破堤箇所を下流より望む (岐阜新聞より提供)



大きく決壊口を開けた長良川堤防 (岐阜新聞より提供)



一夜明けた決壊現場。ブロックなど詰め込んで復旧作業



必死の復旧作業 (岐阜新聞より提供)



道路は寸断され、行き場のなくなった車がひしめき合う (岐阜新聞より提供)



川と化した道路を腰までつかり箱をボードがわりに歩く市民



船不足で自分のゴムボードをもちだして救済物資を運ぶ



ヘリからも物資 墨俣小学校

長良川9.12豪雨災害50年関連イベント実施予定

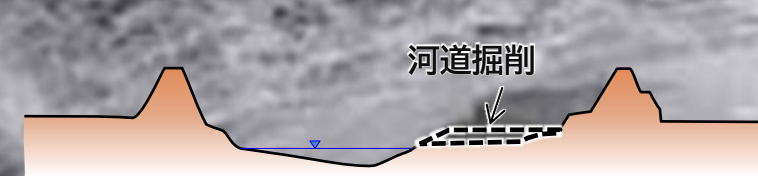
～あの日から50年の節目～
過去から学び、未来の防災について考える

- 長良川9.12豪雨災害シンポジウム
- リレーパネル展、災害記録映像の放映
- 特設サイト開設

木曾川上流河川事務所ウェブサイト
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>



河川整備(河道掘削)



事業実施前(H20.3)



事業実施後(H21.3)

水防団の活躍



シート張り工法



月の輪工法



長良陸閉鎖

水防団が迅速に水防活動を実施し、堤防決壊のリスクを低減しました。

5. 令和8年度の事業方針

木曾川水系では、気候変動の影響による大規模水害から地域を守るため、流域治水の考え方のもと、治水対策及び管理施設の持続的な維持管理を行います。

また、地域と連携し、良好な河川環境と賑わいのある水辺の創出に取り組みます。

これらのことにより、木曾川水系の治水・環境の整備を総合的に実施していきます。

河川改修

木曾川

- ・木曾川において、洪水を安全に流下させるために、堤防整備を実施します。

長良川

- ・長良川本川において、洪水を安全に流下させるために、長良川遊水地整備を推進します。
- また、支川伊自良川において、洪水の流れの阻害となる樹木の伐開を実施します。
- ・犀川では遊水地整備を推進します。

揖斐川

- ・揖斐川本川及び支川牧田川において、洪水を安全に流下させるために、河道掘削や堤防整備を実施します。
- ・新水門川では、老朽化した排水機場の改築と合わせ牧田川左岸堤防の整備を行っている木曾川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)を推進します。

河道の二極化対策

- ・木曾三川では、砂州とみお筋河床の高低差が拡大する河道の二極化が見受けられ、河川構造物への影響などが懸念されています。河道の二極化を緩和する対策として、砂州上の細粒土砂の掘削や樹木伐開、玉石の補充を実施していきます。

維持修繕

- ・老朽化や現行の構造基準に合わないポンプやゲート等の機能改善を計画的に実施します。
- ・河川管理施設が適切な機能を発揮出来るよう、堤防法面や護岸等を補修、河川内の樹木伐開を実施します。

環境整備

- ・木曾川及び揖斐川において、希少な動植物の生息、生育、繁殖の場となるワンドの保全・創出を実施します。
- ・長良川において、ぎふ長良川鶴飼かわまちづくり計画に基づき、魅力的な水辺空間の創出を実施します。

国営木曾三川公園

- ・桜堤サブセンター堤内地エリアにおいて、開園後の維持管理を見据えた計画検討を実施します。
- ・ワイルドネイチャープラザにおいて、既存の園内施設の改修を実施します。
- ・河川環境楽園、138タワーパーク、フラワーパーク江南において、既存の園内施設及び管理施設の修繕を実施します。

6. 事業費

令和8年度事業費一覧(令和8年4月7日現在)

(単位:千円)

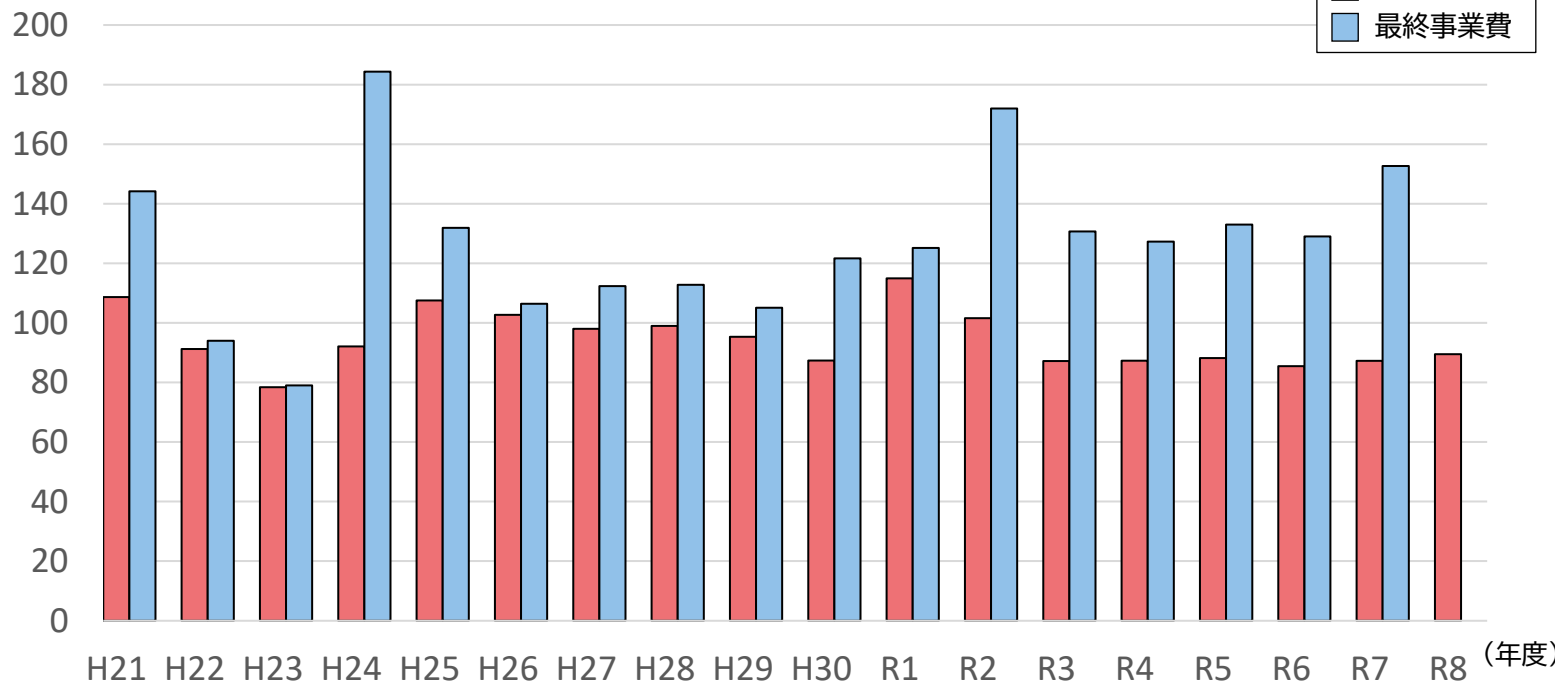
	令和6年度		令和7年度			令和8年度		
	最終	当初	補正等	最終	当初	前年度当初に対する伸率		
事業費(一般)	12,753,305	8,713,813	5,842,075	14,555,888	8,949,400	1.03		
河川事業	11,551,591	7,391,453	5,712,075	13,103,528	7,724,823	1.05		
河川整備事業費	改修	河川改修費	5,884,925	3,200,000	2,280,000	5,480,000	3,402,622	1.06
		うち特定構造物改築事業費	1,921,000	1,029,500	310,000	1,339,500	1,535,365	1.49
	維持	河川維持修繕費	4,744,566	3,579,733	2,931,075	6,510,808	3,459,701	0.97
		河川工作物関連応急対策事業費	440,000	325,000	371,000	696,000	527,000	1.62
都市水環境整備事業費	環境	総合水系環境整備事業費	482,100	286,720	130,000	416,720	335,500	1.17
公園事業	1,201,714	1,322,360	130,000	1,452,360	1,224,577	0.93		
国営公園等事業費	整備	国営公園等整備費	133,975	221,925	130,000	351,925	71,913	0.32
	維持	国営公園等維持管理費	1,067,739	1,100,435	-	1,100,435	1,152,664	1.05
事業費(その他)	149,014	12,557	699,143	711,700	0	-		
事業推進関係	防災・減災対策等強化事業推進費		60,000	-	650,000	650,000	-	-
	災害関係		河川等災害復旧事業費	89,014	12,557	49,143	61,700	-
事業費計	12,902,319	8,726,370	6,541,218	15,267,588	8,949,400	1.03		

※事業費は業務取扱費を除く

※国営公園等維持管理費には、木曾川下流河川事務所が担当する公園施設における運営・維持管理に係る委託費用を含む

事業費の推移

(億円)



※横山ダム支所化に伴い、H23年度～R2年度の事業費には横山ダム分事業費を含む

※木曾川水系ダム統管理事務所の設置により、R3年度以降の事業費に堰堤維持費を含まない

※H30、R1、R2は臨特を含む

7. 流域治水対策

木曽川水系流域治水プロジェクト

近年、全国各地で豪雨等による水害や土砂災害が発生するなど、人命や社会経済に甚大な被害が生じています。気候変動に伴い頻発・激甚化する水害・土砂災害等に対し、「流域治水」の考え方に基づいて、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進しています。

木曽川水系では、令和3年4月に、「木曽川水系流域治水プロジェクト」、令和6年3月には、流域治水の取組を更に加速化・深化させるため、「木曽川水系流域治水プロジェクト2.0」に更新しました。現在は、当プロジェクトに基づき各実施主体において様々な取り組みが進められています。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 [集水域]
[国・市、企業、住民]
雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

流水の貯留 [河川区域]
[国・県・市・利水者]
治水ダムの建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
土地利用と一体となった遊水機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]
河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫
[国・市、企業、住民]
土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

浸水範囲を減らす [氾濫域]
[国・県・市]
二線堤の整備、自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 [氾濫域]
[国・県]
水害リスク情報の空白地帯解消、多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する [国・県・市]
長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化 [企業、住民]
工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫 [企業、住民]
不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実 [国・企業]
官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

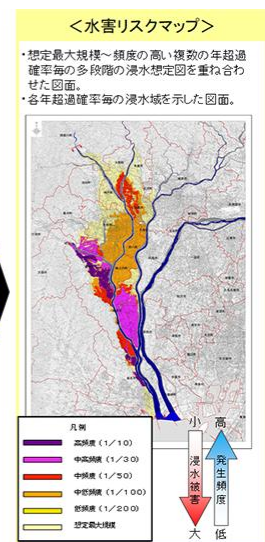
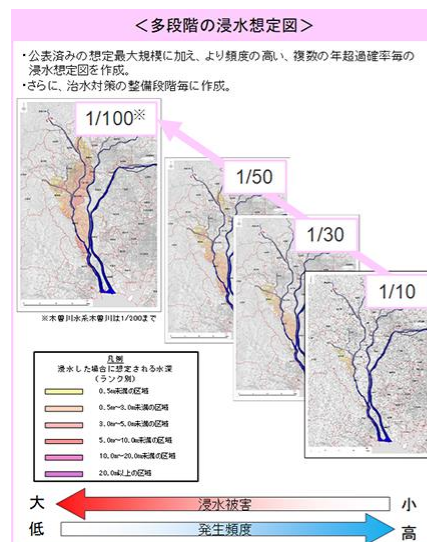
氾濫水を早く排除する [国・県・市等]
排水門等の整備、排水強化

※木曽川水系流域治水プロジェクト2.0の詳細は以下をご覧ください
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/ryuikichisui/index.html>

多段階の浸水想定図と水害リスクマップ

国土交通省で実施している取組の事例
『多段階の浸水想定図と水害リスクマップ』

- これまで、土地利用や住まい方の工夫の検討および水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、本川や支川の氾濫状況を示した水害リスクマップを公表しています。
- 今後は、公表済みの水害リスクマップに内水の氾濫状況をあわせた「内外水統合版 水害リスクマップ」を作成予定です。



木曽川水系における流域治水の取り組み(関係機関の取り組み)

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

◇「田んぼダム」による雨水貯留[関市等]

「田んぼダム」とは、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、水路や河川から溢れる水の量や範囲を抑制する取組です。

「田んぼダム」の排水イメージ

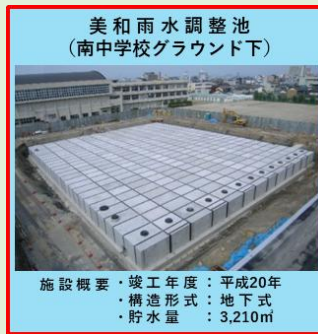


関市の取組状況

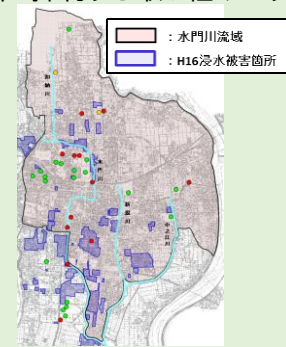


◇流出抑制のための取り組み[大垣市等]

学校の行程貯留やグラウンド下の調整池の整備などの、雨水貯留浸透施設を整備し雨水の流出を抑制する取り組みです。



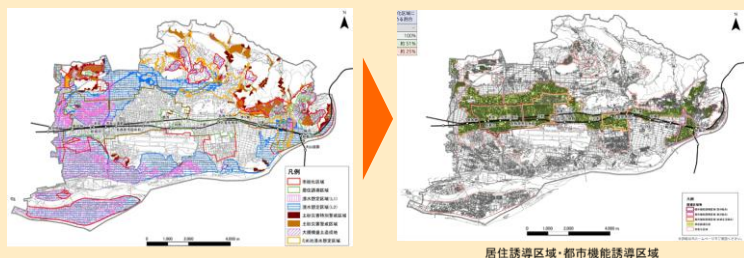
施設概要・竣工年度：平成20年
・構造形式：地下式
・貯水量：3,210m³



②被害対象を減少させるための対策

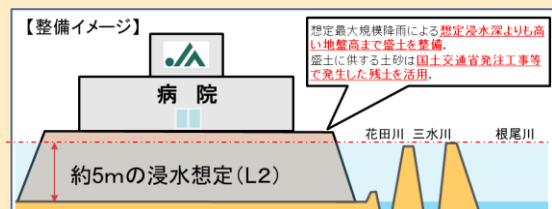
◇浸水リスクを考慮した立地適正化計画[各務原市等]

浸水リスクを考慮し、浸水区域を除外して立地適正化計画における居住誘導区域を設定することで、安全で安心して住み続けられるまちづくりを推進する。



◇拠点病院の地盤嵩上げ[JA岐阜厚生連]

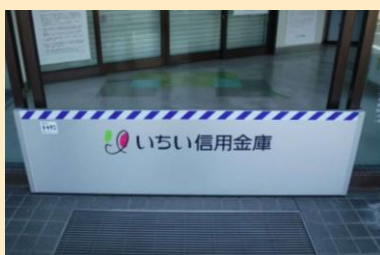
想定最大規模の想定浸水深を考慮した地盤高を造成することで、被害を減少させるとともに、浸水時でも病院の機能継続ができるように安全性を確保しています。また、地震など大規模な自然災害発生時の災害拠点病院となる「救護病院」として指定する協定書を大野町等と締結しました。



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◇防水板施設設置の補助制度[一宮市等]

浸水被害の防止や軽減を図ることのできる防水板施設の設置にあたり、市民や民間事業者が活用できる補助制度を設けています。



【補助の内容】
工事費総額の2分の1

写真：
民間事業者による
防水板の設置状況
(一宮市、いちい信用金庫)

◇専任水防団による活動[岐阜市]

岐阜市は水防活動を専門に行う34の水防団(専任水防団)を設置し、約1,700名が活動をしています。出水時の活動の他、平常時から巡視や水防訓練、住民や小中学生などに対し、水防に関する啓発活動を実施しています。



写真：平常時の水防訓練



写真：H30.7月豪雨時の水防団活動

法的枠組みを活用した「流域治水」の本格的実践(特定都市河川浸水被害対策法の適用) 岐阜県内初の特定都市河川指定に向けた取り組み(岐阜県:境川流域)

岐阜県内において初となる特定都市河川の指定に向けて、岐阜県では境川流域の指定に係る手続きを開始しました。

特定都市河川の指定

全国の河川へ指定拡大

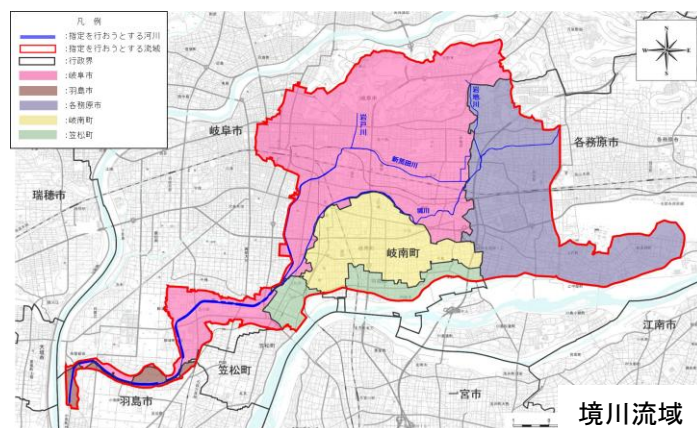
流域水害対策協議会の設置

計画策定・対策等の検討

流域水害対策計画 策定

洪水・雨水出水により想定される浸水被害に対し、概ね20-30年の間に実施する取組を定める

関係者の協働により、計画に基づき「流域治水」を本格的に実践



境川流域

8. 河川改修事業

➤ 長良川遊水地事業

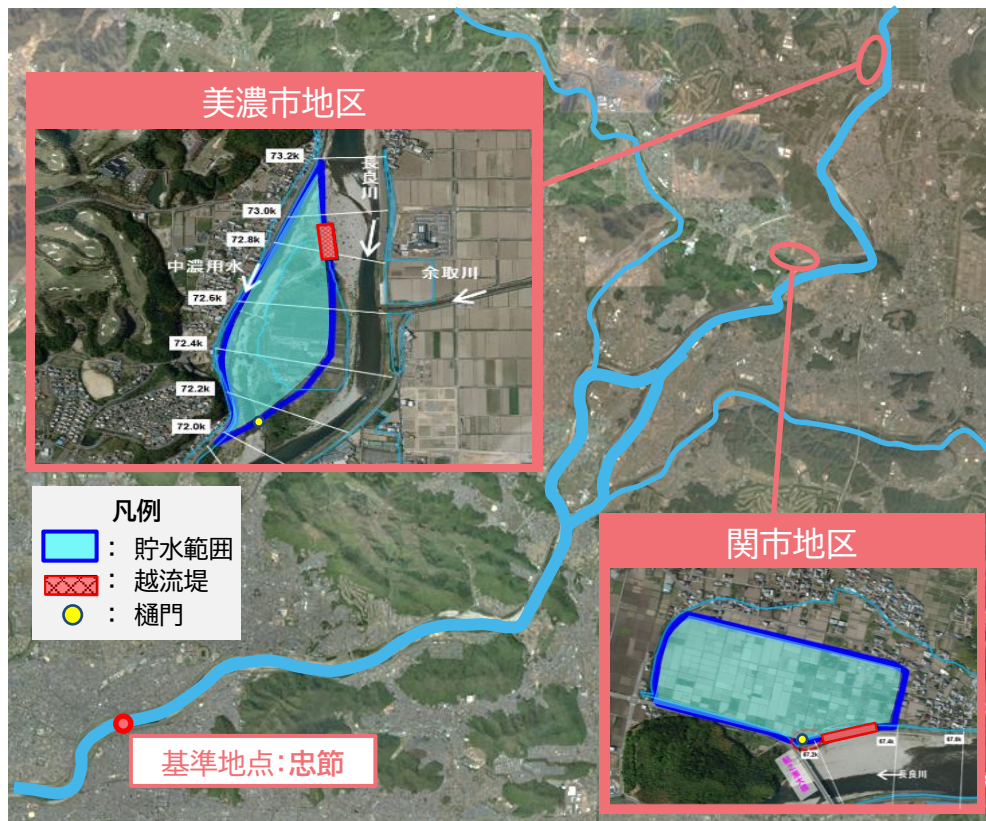
戦後最大規模の洪水を安全に流下させるため、遊水地を整備します

長良川では、戦後最大規模の洪水に対し、遊水機能を活かした洪水調節施設として、遊水地の整備を進めています。

この整備により、基準地点忠節において戦後最大規模の洪水に対して約200m³/sの流量低減を見込んでいます。

美濃市地区は令和3年4月、関市地区は令和6年1月に大臣管理区間に指定しました。

※木曾川水系河川整備計画(平成20年3月策定、令和2年3月変更)



➤ 木曾川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)

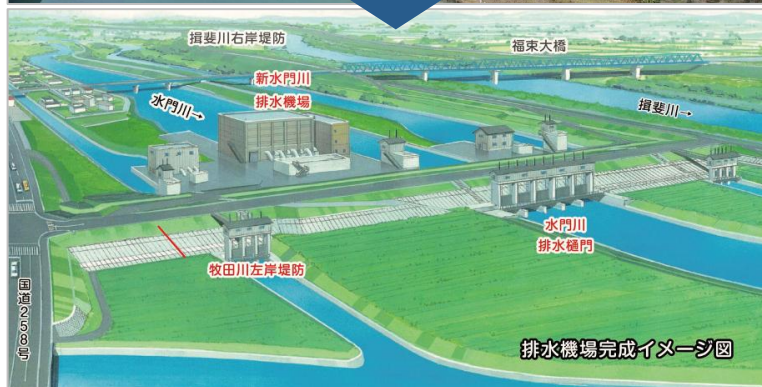
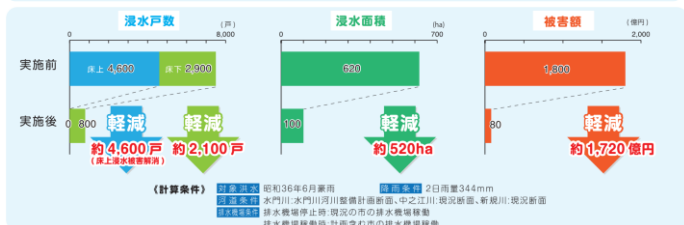
国・県・市が協働して、新水門川排水機場と牧田川左岸堤防を一体的に整備します

新水門川排水機場(国管理、昭和43年完成)、水門川排水機場(岐阜県管理、昭和25年完成)は設置から50年以上経過し、老朽化が著しくなっています。また、現況の牧田川左岸堤防の高さと厚みは十分ではありません。

このため、令和3年度より、新水門川排水機場と牧田川左岸堤防の一体的な整備に、国・県・市が協働して取り組んでいます。

事業効果

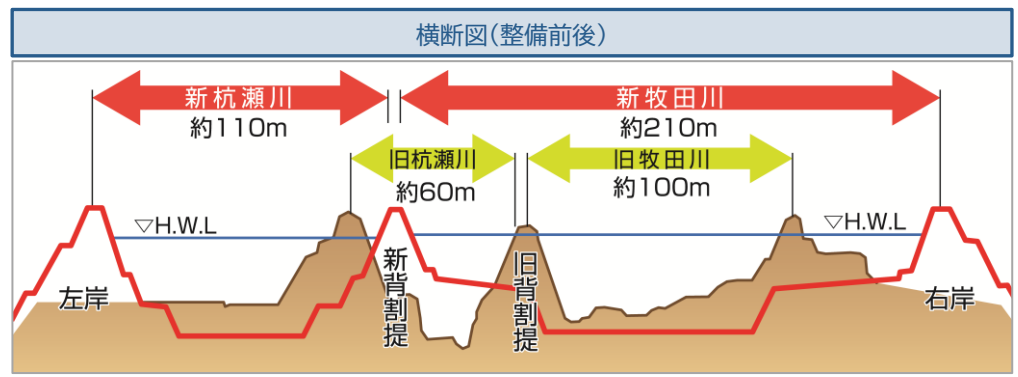
昭和36年6月洪水と同規模の降雨を想定した場合、新水門川排水機場が停止すると、浸水戸数約7,500世帯、浸水面積約620haの被害が想定されます。木曾川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)により床上浸水被害の解消を図ります。



➤ 牧田川烏江地区堤防整備事業

牧田川・杭瀬川の洪水をより多く流せるよう、旧背割堤の撤去等を実施します

平成14年7月台風6号を受け、牧田川・杭瀬川の洪水をより多く流せるよう、河川災害復旧等関連事業にて牧田川・杭瀬川の河道を広げるための築堤、河道掘削、護岸整備を実施し、平成19年度末に完成しました。
その後、牧田川下流の堤防を整備し、現在は河道掘削(旧背割堤撤去等)を実施しています。



➤ 犀川遊水地事業

長良川本川の洪水負荷軽減と犀川流域の内水被害の軽減のため、遊水地を整備します

犀川遊水地事業は、長良川本川の洪水負荷軽減と犀川流域の内水被害の軽減を目的に、昭和56年度に着工しました。
現在は、遊水地整備に伴う支川の付替えに取り組んでいます。



地域の皆様と牛牧排水機場の完成を祝いました！



堤防整備等に伴い(旧)牛牧排水機場の移設が必要となったため、瑞穂市から費用を一部受託し、国が(新)牛牧排水機場の整備を実施しました。
令和7年5月31日には完成式典が開催され、地域の皆様と完成を祝いました。

木曾川起・小信中島地区堤防改築事業

高さや厚さが不足する起・小信中島地区の特殊堤を、より安全な土堤に改築します

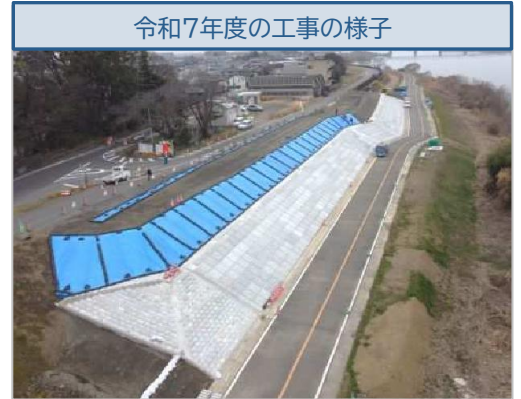
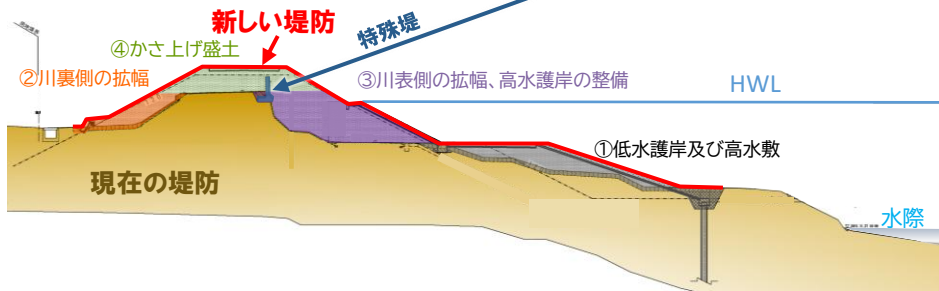
木曾川起地区及び小信中島地区は背後に市街地などを擁する重要な区間です。

一方で当該区間の堤防は、昭和30年代以降に、コンクリートの壁で整備された「特殊堤」と呼ばれる構造であり、老朽化が進みつつあります。また、堤防の幅(断面)や高さも不足しており、堤防のかさ上げと拡幅が必要です。

このため、堤防の老朽化対策、断面の拡大、高さの確保を目的に、築堤・護岸整備を実施します。



特殊堤の様子(川表側から)



令和7年度の工事の様子



完成予想イメージ

河道の二極化対策

自然の営力を活用しつつ、治水と環境の両面から、河川のあるべき姿を目指します

河道の二極化が顕在化しています

長年にわたる堤防整備や河道掘削などにより、洪水の流下能力を拡大してきた一方で、植生の繁茂等による河道の二極化が顕在化しています。

河道の二極化とは、砂州上に細かい土砂が堆積する一方で、みお筋(普段水が流れているところ)の深掘れが進み、砂州とみお筋の河床の高低差が過度に大きくなる現象です。

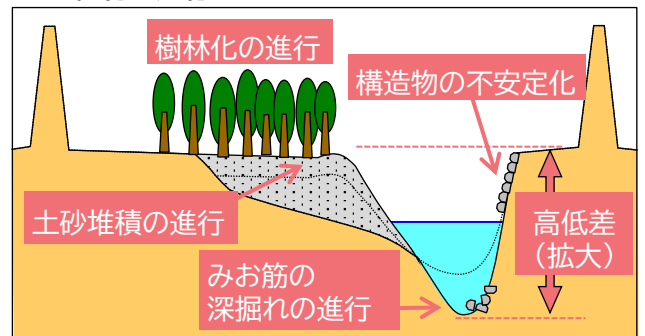
目指すべき河川のすがた

二極化の進行による悪影響を減らすための取り組みを以下の観点から進めていきます。

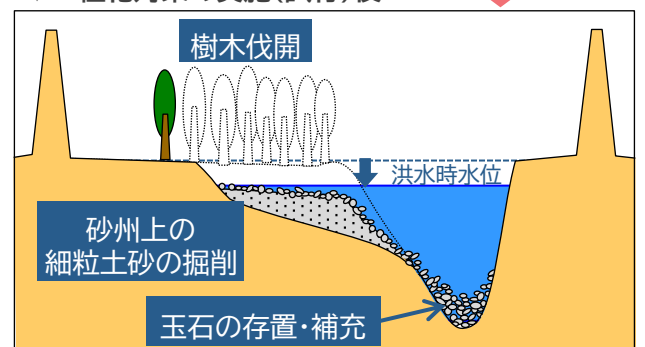
治水 砂州上の細粒土砂の堆積、みお筋の過度の洗掘を抑制し、洪水時の流下能力及び構造物の安定性を確保します。

環境 河川が本来有している多様性に富んだ水辺環境を保全・再生します。

▼二極化の進行イメージ



▼二極化対策の実施(試行)後

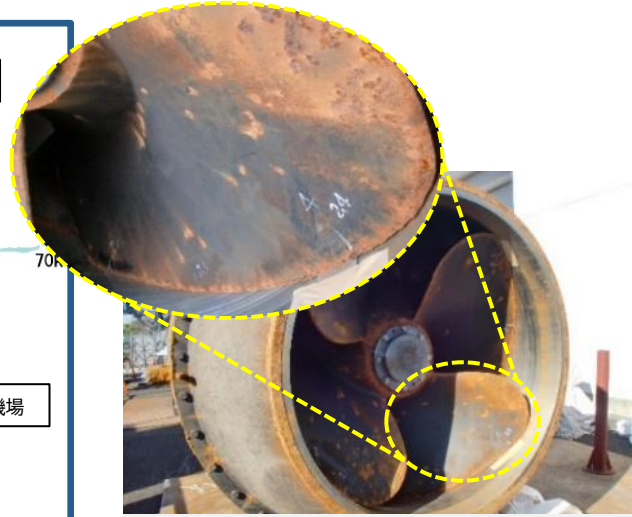
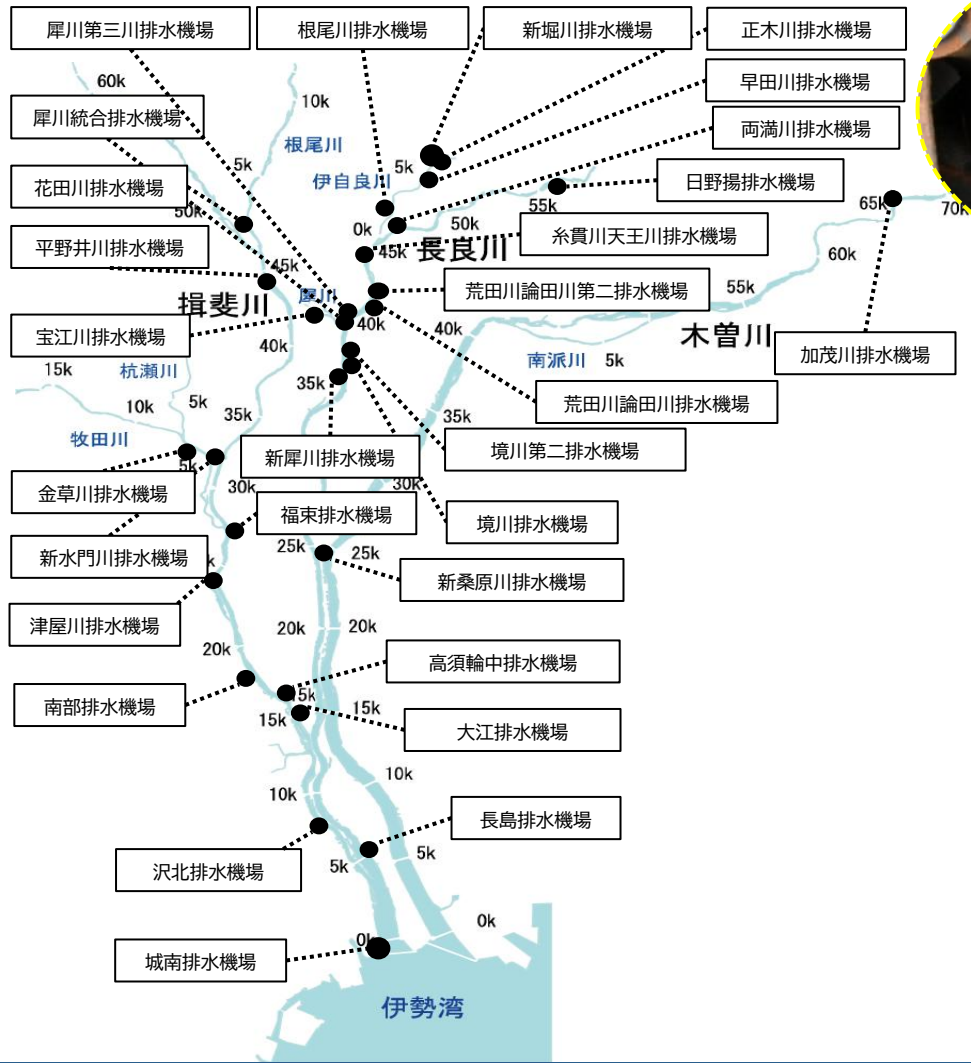


9. 河川管理

河川管理施設の老朽化

木曾川上流河川事務所は、堤防や排水機場等、様々な河川管理施設の維持管理を行っています。これらの河川管理施設は設置から40年以上経過しているものが多く、施設の老朽化が進行している状況です。また、近年の社会情勢の変化等により施設の維持管理に係るコストの拡大、人員の確保が課題となっております。

木曾川水系の揚排水機場



羽根車の腐食進行状況



腐食した扉体

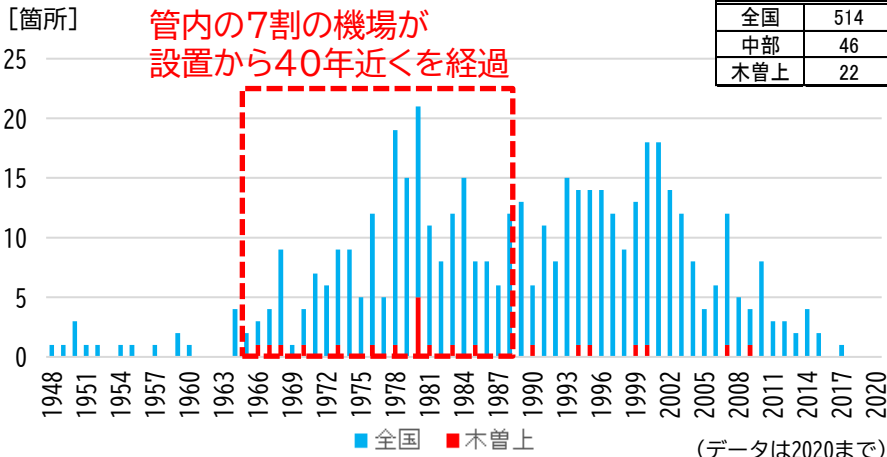


老朽化した開閉装置



老朽化した樋門の取付護岸

揚排水機場設置年(全国・木曾川上流)



河道および河川管理施設の点検を行いその機能を維持し、洪水時には排水機場や樋門などの河川構造物を機能させて水害を未然に防止します。増大する河川管理施設を確実に維持するため、維持管理計画を策定し、PDCAサイクル型河川管理を導入するとともに、維持管理コストの縮減にも取り組んでいます。

河川管理施設の維持管理

- ◆ 河川巡視や施設点検により、堤防や排水機場などの河川管理施設の異常・危険箇所を日常的に把握し、不法投棄・不法占用など不法行為の防止や、維持修繕を行います。



河川巡視



異常発見



補修

- ◆ 出水に備え堤防の異常を発見するため、年に2回程度堤防の除草を実施します。異常が発見された場合、速やかに補修工事を実施します。



除草



刈草の集草・搬出

- ◆ 洪水時の流水の妨げや過度な深掘れを引き起こす河道内樹木群の伐開を順次実施します。



樹木繁茂状況



伐開

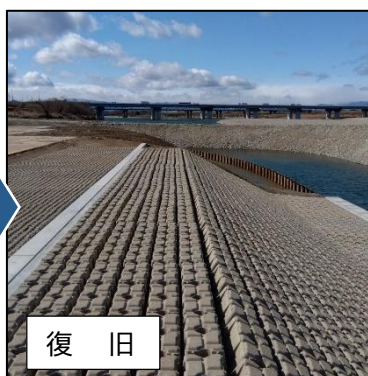


伐採木の無料配布状況

- ◆ 被災した護岸の修繕や、異常箇所の修復など、堤防機能を守る維持工事を順次実施します。また、排水機場のポンプ設備等の分解整備や更新、樋門・樋管のゲートの修繕や無動力化及び耐久性向上など、機械設備の機能維持のため修繕工事を実施します。



護岸被災



復旧



ポンプ設備の修繕前



修繕後

洪水時、水質事故発生時の対応

- 洪水時には、河川巡視を実施し、法崩れや漏水発生などの異常箇所を早期に把握するとともに、異常箇所の拡大防止のため応急対策を地域の水防団などと連携し実施します。



対策本部



現地確認(水防団等)

情報共有

河川管理延長

河川管理延長	171.9 km
岐阜県内	150.2 km
愛知県内	21.7 km

木曽川上流河川事務所管内の主な河川管理施設等

直轄排水機場等	22 機場 (ポンプ70台)
許可排水機場	66 機場
直轄樋門・樋管	116 箇所
許可樋門・樋管	122 箇所
直轄陸閘	129 箇所
許可陸閘	4 箇所

- 排水機場や樋門・樋管ゲートの確実な操作により内水被害の防止・軽減を図ります。



陸閘操作状況(水防団)



排水機場操作状況

- 水質事故に備え、迅速且つ的確に対応できるよう訓練等を実施するとともに、いざという時は、流域自治体と連携して、被害を最小限に抑えます。



水質事故対策訓練



水質事故発生



流下防止
(河川に流出した油をオイルマットで回収)

ユスリカ対策

- キソガワフユスリカ等は、冬季に木曽川中流部で発生し、伊吹おろしにより、東側(一宮市、稲沢市)に吹き寄せられ、被害が集中しているため、ユスリカの発生量を調査するとともに、被害を軽減するための検討・対策を関係機関とともに継続して行っています。



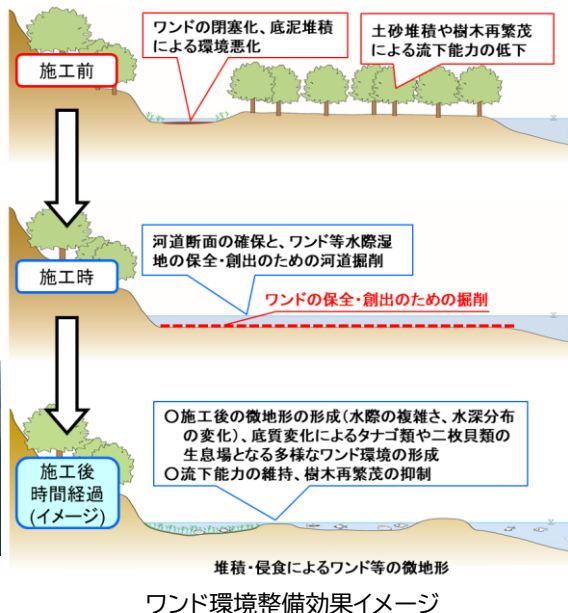
ユスリカ発生状況

10. 環境整備事業

木曾三川では、良好な自然環境の保全を図りつつ、失われるなどした環境を取り戻す自然再生事業や、歴史的、自然的、文化的な河川環境を活かした整備を行い、水辺の利用を推進するための水辺整備事業を実施しています。

自然再生事業

- ◆ 木曾川において、国の天然記念物であるイタセンパラの生息環境を保全するため、ワンドの保全・創出対策を実施しています。令和8年度は、引き続きワンドの環境整備を推進するとともに、モニタリング調査を実施します。



水辺整備事業

- ◆ 「木曾川中流域自転車で繋ぐかわまちづくり計画」、「犬山市かわまちづくり計画」、「一宮西部地区かわまちづくり計画」が令和7年度に登録されました。流域の魅力向上に向けた取り組みを関係自治体と連携して実施します。



- ◆ 長良川左右岸(岐阜市鏡岩地先外)において、治水計画に合わせ、賑わいのある水辺空間を創出するため、「ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画」に基づき、忠節水辺整備事業を推進します。令和8年度は、親水護岸の整備を実施します。



1.1. 防災教育・防災情報等

水害から命を守る為には、公助のみならず、地域住民一人一人が適切に避難できる自助・共助を養う必要があり、子どもから家庭、さらには地域へと防災知識等を浸透させる防災教育を推進していきます。

出前講座

自助・共助・公助などのテーマを設定し、学校の要望に応じた出前講座や授業の支援を行っています。また、排水機場の見学会、災害対策車両の操作体験など児童参加型の活動にも取り組んでいます。

出前講座実施状況



国の取り組み(公助)についての講座



マイ・タイムライン作成講座でのグループワークの様子

試行授業



事務所が開発した教材を使ったマイ・タイムライン作成

見学会・操作体験



排水機場見学会

照明車操作体験



防災教育ポータル

学校や教育委員会と連携した水防災教育の充実のための教材の開発を行っています。「防災教育ポータル」は、学校や地域での水防災教育の普及・充実のために役立てていただくためのホームページです。



災害・避難カード(小・中学生版)のダウンロード



浸水体験ARアプリ

浸水体験

マイ・タイムラインを作る

区分	新学習指導要領(平成29年3月公示)項目
小学校(1~2年)	生活科 学校、家庭及び地域の生活に関する内容 地域に関わる活動
	社会科 身近な地域や地区町村の様子
小学校(3年)	社会科 自然災害から人々を守る活動 国内の伝統や文化、 伝承の継承
	理科 ①生命・地球 ②天気の様子
小学校(4年)	理科 ①生命・地球 ②天気の様子 ③雨水の行方と地面の様子

カリキュラム

学年・教科に対応した教材の用意

その他のお役立ち教材

- ▼水害に関する学年別動画集
- ▼過去の水害写真
- ▼自助・共助・公助が学べる教材(発問計画等の指導案も掲載)
- ▼管内の全小・中学校の浸水イメージ資料

ポータルサイト
アクセス二次元コード



防災情報の提供

地域の方々が自ら氾濫の危険性を知り、的確な避難行動に役立つよう利用者目線に立った情報を提供しています。

国土交通省 川の防災情報

▼パソコン

<https://www.river.go.jp/>

▼スマホ

アクセス二次元コード



トップページ



木曽三川連合総合水防演習

令和7年5月25日(日)、木曽三川における洪水被害を想定し水防関係者の水防技能の向上を図るとともに、防災関係機関が相互に連携した災害対応力の強化等を目的として、実動訓練を実施しました。

実施した主な演習

■ 水防工法訓練



シート張り工(岐阜市長良水防団等) 積み土の工(関市消防団等) 三角水の工(羽島市水防団等) 釜段工(岐阜市島水防団等) 月の輪工(大学生)

■ 関係機関・地域との連携による総合的な訓練 ■ DXを活用した訓練



WEB会議 ホットライン訓練(国、岐阜県建設業協会) 車両排除訓練(岐阜県建設業協会) 堤防荒締め切り 通信確保訓練 Car-SATIによる ドローンによる被災状況調査訓練

訓練のポイント

- 新技術(水防活動支援情報共有システムなど)を活用した迅速な災害対応訓練等を実施。
- YouTubeで訓練状況をライブ配信することで、演習の実施について広く情報発信。

12. 国営公園整備事業（国営木曾三川公園）

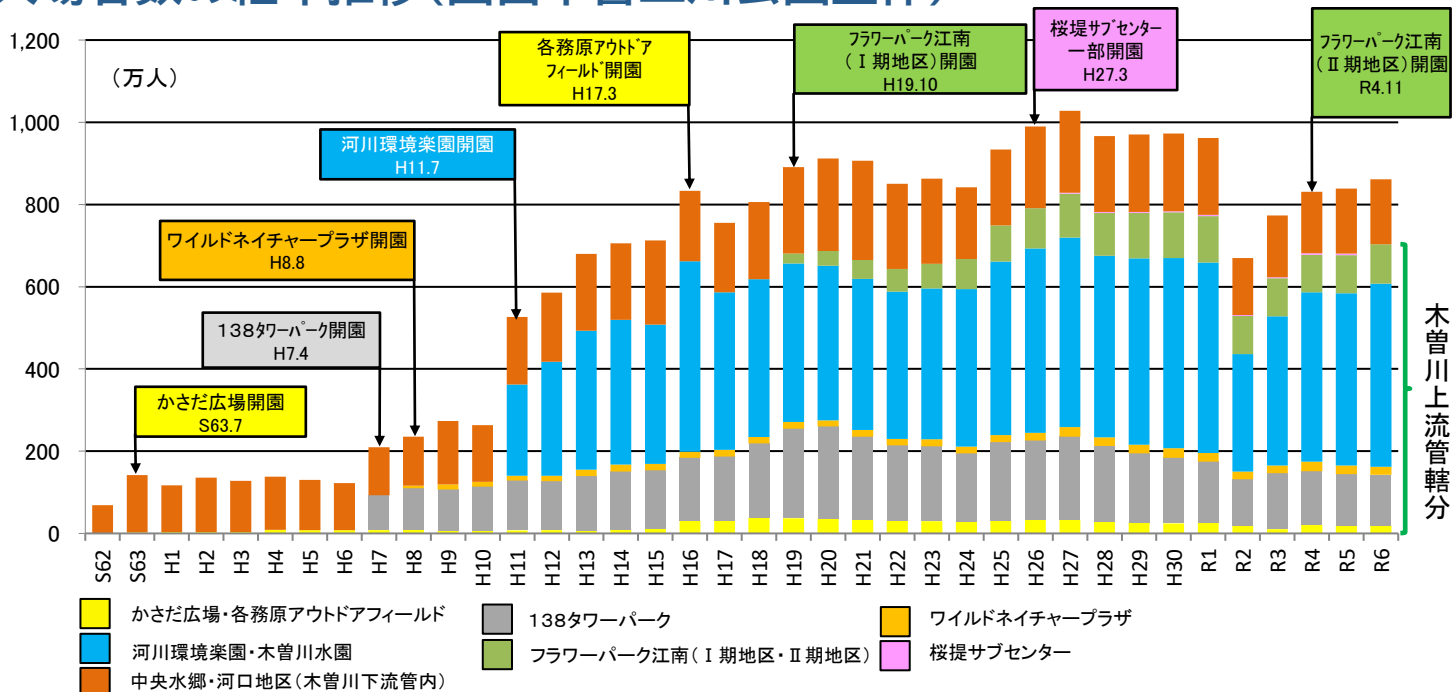
木曾三川公園は、木曾三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に対応するために設置された国営公園です。

国営木曾三川公園は13拠点からなり、うち木曾川上流河川事務所では、138タワーパークをはじめとする6拠点の整備、維持管理を行っています。

国営木曾三川公園の拠点位置図(木曾川上流河川事務所管轄分)



入場者数の経年推移(国営木曾三川公園全体)



➤ 国営木曾三川公園の整備

- ◆ 桜堤サブセンター堤内地エリアは、開園後の維持管理を見据えた計画検討を実施します。
- ◆ ワイルドネイチャープラザにおいて、既存の園内施設の改修を実施します。
- ◆ 木曾川中流部では、沿川12市町と連携して、広域ネットワークの構築に向けたサイクリングロード整備を進めてきたところです。引き続き、サイクリングネットワークの整備や更なる利活用について、関係機関と連携しながら検討を進めていきます。

➤ 国営木曾三川公園の維持管理

- ◆ 来園者が快適に、また安全に公園利用してもらえるよう、遊具の点検・補修、除草などの維持作業を実施します。

➤ イベント時等の公園利用状況



ピクニック日和(大玉サイバーホイールであそぼう) 2025.11 撮影



稲沢サンドフェスタ2025 2025.10 撮影



竹の大国で遊ぼう 2025.10 撮影



夏の楽園祭(アユのつかみ取り) 2025.8 撮影



スプリングフェスタ 2025.5 撮影



秋のガーデンパーティ 2025.10 撮影

13. 令和8年度の事業位置（改修・維持・環境・公園）

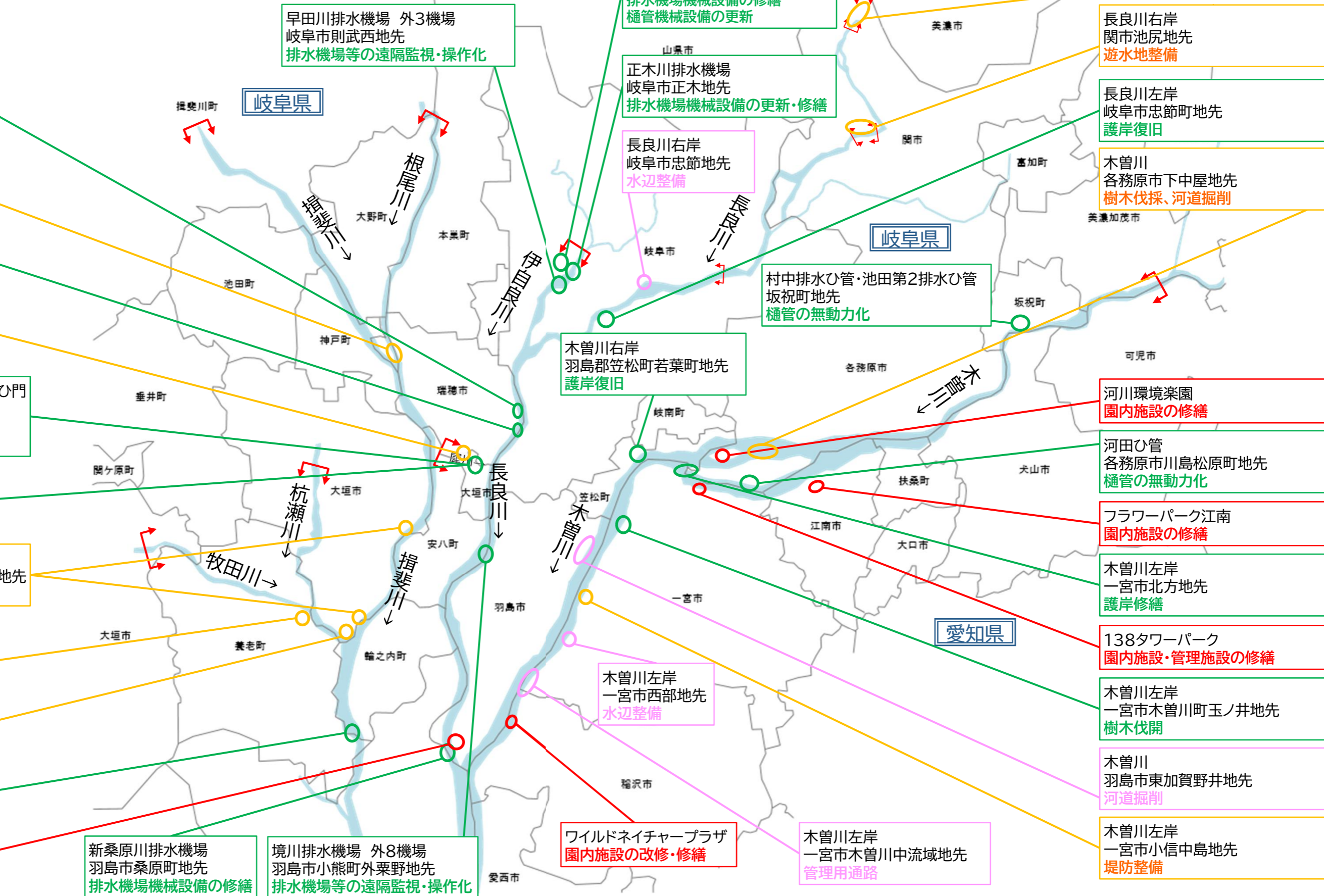
洪水による災害発生の防止及び軽減のため、各河川において対象とする戦後最大規模の洪水を安全に流下できるよう、築堤や護岸、河道掘削、樹木伐開、樋門改築等の整備や施設の維持修繕を推進し、治水安全度の向上を図ると共に、自然再生や水辺整備を行います。

【凡例】

- R8河川改修 (Yellow box)
- R8維持修繕 (Green box)
- R8環境整備 (Purple box)
- R8木曾三川公園 (Red box)

↑↑ :大臣管理区間

- 荒田川論田川第二排水機場
岐阜市高河原地先
排水機場機械設備の修繕
- 根尾川
揖斐川郡大野町下座倉地先
樹木伐採
- 新荒田川論田川排水機場
岐阜市高河原地先
排水機場機械設備の修繕
- 犀川
瑞穂市牛牧地先
付替五六川、河道掘削
- 犀川第三排水機場・犀川第三排水機ひ門
瑞穂市穂積地先
排水機場機械設備の更新・修繕
樋門機械設備の更新
- 犀川統合排水機場
瑞穂市穂積地先
排水機場機械設備の修繕
- 揖斐川
大垣市横曾根地先・安八郡安八町牧地先
河道掘削
- 牧田川右岸
養老郡養老町烏江地先
樋門撤去、河道掘削、堤防強化
- 牧田川左岸
大垣市横曾根地先
樋門改築、地盤改良、水路切替
- 福束排水機場 外3機場
養老郡養老町大巻地先
排水機場等の遠隔監視・操作化
- 桜堤サブセンター
堤内地工エリアの計画検討



- 新桑原川排水機場
羽島市桑原町地先
排水機場機械設備の修繕
- 境川排水機場 外8機場
羽島市小熊町外栗野地先
排水機場等の遠隔監視・操作化

- 新堀川排水機場・新堀川排水ひ管
岐阜市折立地先
排水機場機械設備の修繕
樋管機械設備の更新
- 正木川排水機場
岐阜市正木地先
排水機場機械設備の更新・修繕
- 長良川右岸
岐阜市忠節地先
水辺整備
- 村中排水ひ管・池田第2排水ひ管
坂祝町地先
樋管の無動力化
- 木曾川右岸
羽島郡笠松町若葉町地先
護岸復旧
- 木曾川左岸
一宮市西部地先
水辺整備
- ワイルドネイチャープラザ
園内施設の改修・修繕
- 木曾川左岸
一宮市木曾川中流域地先
管理用通路
- 長良川
美濃市地先
遊水地整備
- 長良川右岸
関市池尻地先
遊水地整備
- 長良川左岸
岐阜市忠節町地先
護岸復旧
- 木曾川
各務原市下中屋地先
樹木伐採、河道掘削
- 河川環境楽園
園内施設の修繕
- 河田ひ管
各務原市川島松原町地先
樋管の無動力化
- フラワーパーク江南
園内施設の修繕
- 木曾川左岸
一宮市北方地先
護岸修繕
- 138タワーパーク
園内施設・管理施設の修繕
- 木曾川左岸
一宮市木曾川町玉ノ井地先
樹木伐開
- 木曾川
羽島市東加賀野井地先
河道掘削
- 木曾川左岸
一宮市小信中島地先
堤防整備

国土交通省 中部地方整備局 木曾川上流河川事務所

総務課	地域の方々と事務所をつなぐ総合窓口業務、職員の服務・福利厚生などの業務を行っています。
経理課	事務所が発注する工事などの契約、支払いに関する業務、物品、国有財産の管理などを行っています。
用地課	事業に必要な用地の確保、移転補償などの業務を行っています。
工務課	木曾三川の改修工事の設計、積算、発注に関する業務、工事の施工、監督に関する業務などを行っています。
品質確保課	工事の技術提案の審査・評価、工事検査に関する業務などを行っています。
流域治水課	流域治水の推進に向けた河川整備及び環境保全・利活用促進等に関する調査検討、水防・地震防災に関する総合防災業務などを行っています。
管理課	木曾三川の維持修繕工事、機械設備の設計、積算、発注に関する業務、河川を利用する際の技術審査などを行っています。
占用調整課	河川を利用・使用したり、土や砂利を採取する際の許認可の事務などを行っています。
河川公園課	木曾三川公園の整備・維持管理を行っています。
防災情報課	電気通信施設に関する業務を行っています。
木曾川第一出張所	木曾川に関する維持・管理・工事監督を行っています。
木曾川第二出張所	木曾川に関する維持・管理・工事監督を行っています。
長良川第一出張所	長良川に関する維持・管理・工事監督を行っています。
長良川第二出張所	長良川に関する維持・管理・工事監督を行っています。
揖斐川第一出張所	揖斐川、根尾川に関する維持・管理・工事監督を行っています。
揖斐川第二出張所	揖斐川に関する維持・管理・工事監督を行っています。
牧田川出張所	牧田川に関する維持・管理・工事監督を行っています。



〒500-8801
岐阜県岐阜市忠節町5丁目1番地

<バスでお越しの方>

- JR岐阜駅利用時
 - ・バス乗り場(8)(9)(10)(11)
- 名鉄岐阜駅利用時
 - ・バス乗り場(5)
- 事務所最寄りの「西野町」に停車するバスは
 - 1) 清流ライナー、岐大ライナーを除くC系統(8)(9)
 - 2) 忠節を経由するK系統(10)
 - 3) 市内ループ線(右まわり)(11)

TEL 058-251-1321(代表)
FAX 058-251-4301(代表)
URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/>

※表紙の航空写真は、令和3年2月に撮影。

Ver. R8.4.7